## 郷土こぼれ話

## 地域の神様 ⑥ 雀神社 (柿沼)

- 四分一芳治さんにお話を伺いました -

雀神社は柿沼地区の神様 (うぶすな神) です。

神社の歴史は古く、宝暦 2年(1752年)に記された縁起があります。これは、祭神である天 鈿 女 命が登場する神話です。また、ウズメが転じてスズメになったと説かれています。享保 3年(1718年)「雀之宮大明神」が正一位に叙せられた記録があり、この時の宗源宣旨・宗源祝詞・幣帛が今も本殿に納められているそうです。これらのことは、神社西側にある「神徳無窮」(神の恵みを永遠にの意)の碑にも残されています。

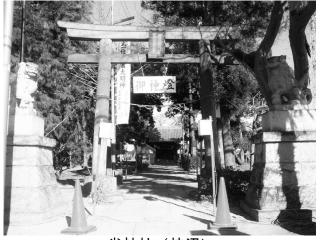
祭神は、天鈿女命、素戔嗚尊、菅原道真です。明治42年、雀宮大明神・八坂大神・天満大神が合祀され、同年拝殿の改修が行われました。合祀に関わる改修だと考えられます。

また、ウズメには、オスメドリ(護田鳥)の意味があります。雀神社は農作物の豊作を祈る神様だといえます。天神様と言われる菅原道真の天神(雷神)も、稲作の神様、学問の神様として御利益が伝えられています。祭日は年4回です。春の日待祭は五穀豊作・氏子繁栄を願って執り行われます。夏のお祭りは八坂大神の祭りで、悪疫退散・村中安穏を祈ります。秋の日待祭は五穀豊穣・万民豊楽を祈り、そして元旦祭では新年祝賀と初詣を行います。

雀神社の祭事は、氏子から集められる燈明料から支出されます。 7地区から 3 年任期の総代が選出され、併せて  $1\sim 2$  人の用掛( 1 年任期)が選ばれます。この役員によって運営されます。

雀神社には、多くの言い伝えがあります。氏子は雀を大切にし、捕

らえたりあやめたりしないと言われていたそうです。人々が雀様に親 しみを持っていた証だと言えるでしょう。戦争前には、小学生による お神楽が行われていたそうです。県道が舗装された5~60年前、幟 立が県道近くにありました。その前にあった大きな自然石の上に子ど もたちが上がって、トラック等が通ったとき揺れを楽しんだのを思い



一 雀神社(柿沼) -

出します。団塊の世代 が子どもの頃には、子 どもたちの良い遊び場 でした。

柿沼には、天神山という地区があります。

しかし、小学ではないそうです。合祀された「天神社」があった場所が天神山となった

のではないでしょうか。

また、古くは「現在の熊谷市」に「雀宮神社」が3社あったと言われています。現在残っているのが雀神社(雀宮神社)であり、社は現存しないがその土地の名前として残ったのが、肥塚の雀宮だそうです。

幡羅郡柿沼村総鎮守として、古くからこの地に鎮座まします雀神社は、柿沼の地を鎮め人々の生活を、そして人々を護ってきてくださいました。私たちは、これからも雀様を大切にお祀りしていくことが肝心だと思います。

※註 1 「宗源宣旨」=諸社に授けられた神階、社格、神号などの文書 ※註 2 「神徳無窮の碑」=石碑に漢文で書かれている。四分一芳治さん は、パソコンで書き写し、現代語訳をされました。

文・写真: むらた ひとし 大幡公民館だより 平成28年 8月号